

# 「じんけん」ぽん

〈2007年 2月 第34号〉

住所：〒277-0005 柏市柏5-2-17 電話 04-7165-8707 FAX 04-7165-8709

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/ai-net/> メールアドレス [bch13362@nifty.com](mailto:bch13362@nifty.com)



特集

リハビリは必要だ！（高次脳機能障害の場合）

～東葛菜の花「高次脳障害者と家族の会」～

地域を歩く

青空共同保育の会「どんぐり」

※エルマップ完成！ あいネット勉強会報告、eyeねっと…

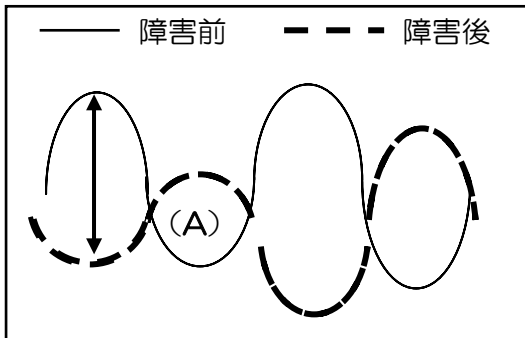
特集

## リハビリは必要だ！（高次脳機能障害の場合）

東葛菜の花「高次脳機能障害者」と家族の会」で行った臨床心理士の先生をお招きした学習会のエッセンス。適切なリハビリの必要性についてまとめました。

### ■認知・脳の機能って？

認知とは目で見る、耳で聞く、話す、場の雰囲気を感じるなど外から入る情報の捉え方を言います。病院で心理検査やWAIS＝知能全般の検査などを受けることがあります。それがアセスメント。



知能検査の場合、知能指数をみるのではなく現状の得意・不得意の波と、元々の状態プラス年齢的なものなどをみて判断します。

高次脳機能障害の場合は、診断名は一緒でも障害部分が異なるため、症状は一人として同じ人はいないと言われていいます。壊れた脳細胞を生き返らすことはできないけれど、残った細胞にもっと働いてもらうことはできます。

そもそも脳は省エネモード、必要なければ使わなくなるため、働きかけていくことが必要です。波をみることで、比較的保たれているところ(A)の機能に働きかけていく、それが認知リハビリです。慢性期でも諦める必要はなく、適切なリハビリを行うことが大切です。適切というのは、まずアセスメント（評価＝課題分析）を行い、どう見立てるのか？ということ。3ヶ月なりの期限でみて効果が上がっていないとすれば見立て違い。しっかりその機能に働きかけていれば必ず何らかの変化は現れます。もちろん完全に治るということではありません。リハビリにもいろいろあり、職場復帰を目指す人には職リハとか適切なリハを受けることが必要です。

### ■リハは楽しくなければ意味が無い

ペーパーで100点取ることで何かが変わるのではなく、日常生活で使えることが大事。状態にあったものであれば何をしても効果は上がるので、何をするかよりも今は何が難しく何ができるかを把握することです。ペーパーや機械に向うより、人と話す機会を多く持つこと、人の表情を見て自分で考え読み取っていくことが大事という話に、これって何にでも通じることだなあと感じました。





## 速報 エルマップ完成！



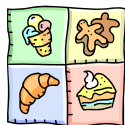
(柏市・我孫子市・流山市周辺地域 障害者・高齢者支援情報)  
エルマップ：Life, Live, Love…が完成しました。近日、HP 上に掲載いたします。作成にあたりご協力いただきました関係機関の皆さまありがとうございます。※冊子は若干の残りがございます。必要な方は、あいネットまでお問い合わせください。

あいネット勉強会

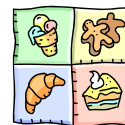
## お話しませんか？

2月4日(日)13:30から、あいネット主催の勉強会(仮名)をアミュゼ柏にて開催しました。これまで障害を持った方々に役立つ勉強会を目指して検討を重ねてきました。あいネットに寄せられる相談の中で、様々な理由で福祉のサービスまでたどり着けなかった…馴染めなかったりして、自宅で日々もんもんと生活をされている方々の相談を多く受けます。

- 「友達がほしい」「休みの過ごし方が分からない」などの声を多く聞きました。通所施設の職員さんから「施設を終わってからの時間の過ごし方や休みの日の過ごし方が気になる余暇支援に取り組める時間もなかなか作れない」といった声を多く聞いたこともあり、
- 今回は「本人同士のやりとりの場」の提供や集まる会をしよう！と、広く声かけはせずに日々相談を寄せてくれる方を中心に「参加者ゼロでもとにかくやってみよう」という事になり、関係機関の職員の方々にも協力して頂き、「お話しませんか？」を行いました。



当日はとても風が強く、気温も低い悪条件の中、当事者の方が2名参加してくれました。その他に作業所や施設などの職員の方も4名参加して頂き、合計10名でおしゃべりをしました。内容はフリートーク方式で、こちらからは議題などは設けずに参加者に好きに話してもらい、当事者の方も福祉職員の方も一緒に同じテーブルに着き、お菓子を食べながら楽しくお話をしました。最初はみなさん初めて会った顔という事で、緊張した空気が数分流れましたが…。気がつけば、みなさんお互いの趣味や今熱中している事など、話題は尽きずにあっという間に1時間半が過ぎました。さて、これからどういう会に成長していくか？という話です。参加者でカラオケに行ったり、ディズニーランドに行ったり、とテーマは尽きません。参加者同士で話し合いながら、その都度決めて行きたいと思っております。



今回参加された当事者の方の一人の方は、あいネットでも何度か面談などで話している方です。「あんなに楽しそうに自分の事を話したり、笑ったりできるんだな～」と私たちは驚きました。その方は「次回も絶対に参加したい」と元気に話して頂きました。

第1回目の会を通しての感想としては、参加者の方が会を通じて知り合った人達と一緒にイベントに参加する事で何か生活に良い変化を感じてもらえるような会に出来ればと感じました。

- このような会をこれからも継続的に行っていきます。みなさまのご参加をお待ちしています。

**次回開催日 3月11日(日)16:00~17:30**

**場所 あいネット事務所**

※お菓子等は各自持ち寄りをお願いします。



地域を歩く

# 一歩く速度の子育てを— 青空共同保育の会 「どんぐり」

代表 嶋谷 佳苗  
問合せ先 04-7165-2877

## きっかけは？

「子どもを取り巻く社会状況に危機感をもち、まだ間に合うのなら…」子育てにとって必要不可欠なコミュニケーションをとる場所をつくりたかった。青い空は、青いままで子ども達に伝えたいと思った。

## どんぐり

今年で25年、卒業生約1,000人余り。決まった園舎を持たずに主に柏市あけぼの山周辺での共同保育。クラス毎に週1~3回の活動。時間は10時から14時頃まで。春、夏、冬休み有り。対象年齢は0歳~就学前までの乳幼児とその親を対象に約50組。



## どんぐりの遊びは？

「自然そのもの」「生活そのもの」晴れた日は「影おくり」を楽しみ、気の向くまま仲間たちと野山を駆け回る。雨の日は探検にレッツゴー！四季折々の景色や風、草花、生き物との出会い。どんぐり農園では、時々はお父さんも一緒に作業をし、野菜、小麦、大豆などの収穫から脱穀まで手打ちうどん、パン、肉まん、お鍋や昼食時のおかずにと楽しみは一年中。

## どんぐり流子育てとは？

子育てとは生活を楽しく伝えること。親も子も周囲の大人もみんな違うからいい。自然の中でその違いを生かしながら知恵を出し合いみんなで、「あーだ、こーだ」と自然体で関わるのがいい。そこに五感体験や仲間意識、他への思いやり、しつけなども生まれてくる。子どもが本来持っている伸びる力を大切に広い心で見守っている。お昼は、各自持参のおにぎりとお母さんが作ったおかずとお茶。

## お母さんの声

「どんぐりに来るようになってから公園で、おもちゃがなくても遊べるようになった。」  
「夫といる時間より、どんぐりの仲間といる時間のほうが長く、家族のよう」「見守る姿勢を教わった」  
「ここなら何人でも育てられそう」「こころの底から満喫した子ども達の笑顔は私たちの宝物」

今回、探検という活動に参加し、こどもたちが、霜柱を大事そうに持っていたり、遊びを自然に作っているときの目の輝きと笑顔を見て自然体ってこういうことなんだと思いました。また、母、子が「どんぐり先生」と呼ぶ姿に一体感を感じました。



## eye ネット ~本は借りる派、それとも買う派？~

図書館でリクエストするのが一番！という派もあり、落ち着いて探せない私はネットで買うことが増えている。そして書評に誘われ最近買った本は「夜と霧」(新訳)、「ディープ・ブルー」。前者は読んだ方も多い？ 原題は「心理学者、強制収容所を体験する」。下手な感想は書かないほうが良いと自戒して、もしまだ読んでいない方には、ぜひお勧め。後者はまだ読んでいないが、虐待を受けた子どもたちの成長の過程で遭遇する決別と出会いと困難を描いたもの。あいネットに寄贈された本も含めささやかな図書(室?)で貸出をしているので、ぜひお立ち寄りを！ただし新書のリクエストは図書館で…。



# Information お知らせ



## ■もしも あなたの大切な人が 心の病気にかかったら

日 時：平成 19 年 2 月 24 日（土）13:30～15:30

場 所：たんぼぼホール（慈恵大柏病院近く）

費 用：HIT 会員 500 円 非会員 1,000 円 定 員：150 名（先着順）

申込み先：〒270-0163 流山市南流山 1-14-7

ひだクリニック内 NPO 法人こころの健康を創造する会 creationHIT 宛

FAX 04-7150-8120 ※申込みは FAX かハガキをお願いします。

内 容：「家族・友人・同僚としてどう接したらよいか」「気持ちをリラックスさせてくれるお薬の話」 肥田 裕久

## ■地域福祉サービス・担い手養成講座

対 象：地域福祉サービスの立ち上げを考えている方

日 時：平成 19 年 3 月 03 日（土）10:00～16:00

平成 19 年 3 月 10 日（土）13:00～16:00（全 2 日間）

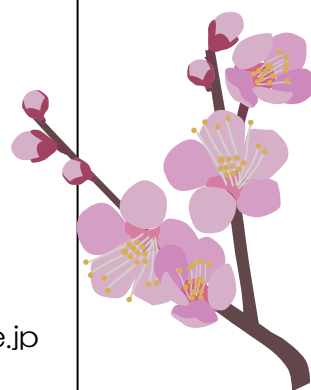
場 所：千葉市民活動センター 千葉市中央区千葉港 2 番 1 号

定 員：30 人（先着順） 費用：無料

お申し込み・問い合わせ先：プレーメンの星数支援センター（担当：相原）

TEL0479(23)6036 Fax0479(23)6070 メール egaochoshi@ybb.ne.jp

申し込み方法：メールまたは Fax で申込み先まで 名前、連絡先、活動歴等



## ■にじと風「7周年記念行事」～米良美一チャリティーコンサート～

日 時：平成 19 年 3 月 3 日（土）14:00～ 場 所：八千代市 市民会館大ホール

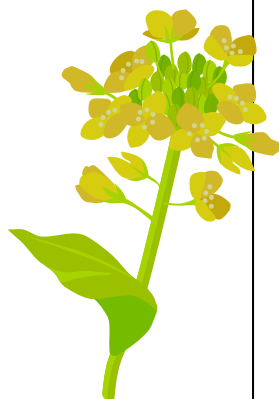
費 用：前売り券 3,000 円 当日券 3,500 円

お申込み・お問い合わせ：八千代肢体不自由児者父母の会 にじと風福祉会

TEL047(480)0801 fax 047(480)0807

主 催：八千代肢体不自由児者父母の会 共催：NPO 法人にじと風福祉会

※チケットぴあ（取り扱い中）



## ■コミュニケーション支援講演

日 時：平成 19 年 3 月 10 日（土） 13:30～

会 場：我孫子市民会館大会議室

お申込み：不要（当日直接会場にお越しください。）

問い合わせ：我孫子市役所生活支援課

TEL04(7189)7235 FAX04(7183)1158

内 容：①当事者発表 失語症友の会 田中力氏 中途失聴難聴者協会 田仲 隼子氏

②コミュニケーションの実際 要約筆記通訳・ノートテイク・会話パートナーなどのコミュニケーション支援場面を見てみよう。



（編集後記）  
初詣にまだ行っていないことが気  
になってくる年明けの頃（S）